



—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—

月刊

ポケットあわじ

発行日 2012年4月1日

春 島の祭りに心おどる



ちよーさじゃー

ちよーさじゃー

伊弉諾神宮の春祭り

4月21日22日

パワースポットとして脚光を浴びている伊弉諾神宮の春祭りは毎年4月21日・22日に行われます。境内には、布団だんじり・曳だんじり・船だんじりなど各地区自慢のだんじりが勢ぞろいします。その中でも歴史の古い船だんじりについて、本名(ほんみやう)宮司に伺いました。

元禄6年(1693年)に郡家の回船が遭難し、3年後に無事帰還できたことに感謝して「一宮丸」(いっくまる)と名付けた菊の御紋入りの船だんじりを奉納しました。五穀豊穰・子孫繁栄を祈願するために若者たちが神様の化身となり女性の小袖をまとい「ちようさじゃーちようさじゃー」と威勢のよい掛け声で遭難時の船の様子をあらわすように練り上げます。例祭(22日)の神幸祭は天狗が露払いとなり、初老、還暦の氏子たちが御輿を奉じ浜の宮へお旅のお供をします。また、郡家商店街での船だんじりの練りあいも見ものです。一度由緒ある伊弉諾神宮の春祭りを堪能してみたいかがでしょう。応援隊:藪内又規・西山佳代子 *毎月22日は「ふうふのひ」でライトアップをしています。カップルでパワーをいただきに行きましょう。



今月の特集 春祭り特集

春。島の祭りに心おどる。

- P.1 伊弉諾神宮の春祭り
- P.2 岩屋の春祭り・鮎原の春祭り
- P.3 社家の春祭り・阿万の春祭り

もくじ

- P.4 祭礼団のファッションチェック
淡路島のだんじり祭りその魅力とは・・桜井一郎氏
- P.5 城下町洲本レトロなまち歩き
おじゅっさんのありがた〜いお話
- P.6 淡路文化会館・淡路消費生活センターからのお知らせ
- P.7.8 淡路の文化活動・イベント情報

五月十二・十三日
淡路市岩屋石屋神社



岩屋の春祭り

淡路島の本州からの玄関口、岩屋では毎年五月第二週の土日に石屋神社春祭りが行われます。この祭りは女性の元気な祭り



として知られ、だんじりのお立ち台には和服姿の女性が扇子を振り上げ気分は“ジュリアナ東京”風。

明石海峡大橋や万葉集に出てくる絵島の前を通り神戸の街を対岸に望みながら練り歩きます。昭和の



雰囲気漂う商店街では、だんじり舞台上で子供たちの日本舞踊が披露されます。

この祭りのクライマックスは石屋神社前と岩屋八幡神社への引っ込み(宮入)。だんじりの先綱が見えると走り出し一気に拝殿前へ来る。すると激しい太鼓に呼応して老いも若きも男も女も、曳き手、囃子方、神輿担ぎ手までが踊り出す～心も体も踊りだす～♪

境内は人の熱気で盛り上がり神輿も担がれ最高潮！！これが淡路岩屋の春祭り。応援隊：竹代 結



*だんじりは、町内会の都合により出ないこともあります。



4月29日

鮎原の春祭り

洲本市鮎原にある河上神社は、菅原道真公を「天神さま」としてお祀りしており、淡路唯一の学問の神様を祀る神社として広く知られています。



洲本市鮎原南谷河上神社

今回はこちらの神社の春祭りを紹介します。

河上神社では1年の中で春が一番盛大なお祭りだそうで、中でも各地区ごとから出される布団壇尻は全部で10基もあるそうです。門をくぐり、太鼓橋を渡り、石段を登って、並んだ壇尻は、どれも美しさと優雅さを競い合うようにこの日のために手入れされ、どこにも負けないのだとか…。その壇尻を力を合わせ、神木の周りを2周、「かんそーばらでも いろとーこー それ、しゃーんとせー」や「いろはにほへと ほら しゃーんとせー」などの掛け声をかけながら練るそうです。祭礼団の衣装がまた特徴的で、同じ白い「だんじりじばん」を羽織っていますが、背中の中墨で書かれた絵や字は全部違うそうです。壇尻の他にもお神輿や獅子舞、さらには鮎原小学校の子供たちや地区の同好会の方によるだんじり唄など見所満載です。またこの神社には黒い石で彫られた「神牛」が祀られているのですが、この春祭りの日だけ本物の牛が登場するそうです。しかも嫁入り前の選ばれた良い牛だとか。色々お話を聞いていたら、早くお祭りに行きたくなってしまいました。応援隊：稲嶺 恵美



- 阿万の春祭り
- 社家の春祭り

南あわじ市阿万
阿万亀岡八幡宮
四月十五日



市の投げだんじり
大技 天井越し

五月四日

南あわじ市社家
上田八幡神社

社家の春祭り

南あわじ市神代社家の上田八幡神社では、毎年5月4日に近隣の10地区から14台ものだんじりが集まり、盛大に春祭りが開催されます。中でもこの祭りの名物は三台の投げだんじりです。

市地区の和田さんに社家の祭りや投げだんじりについて色々とお話を伺いました。市地区では祭りの約1ヶ月前4月上旬から練習用のだんじりでの練習が始まります。だんじりの太鼓のたたき手である乗り子は中1の男子を中心に4人が昔からのしきたりに沿って決められます。唄方と呼ばれる大人たちは「市拍子」と呼ばれる独特の節回しで人形浄瑠璃の題材からだんじり唄を歌います。その唄に合わせ、だんじり担ぎと呼ばれる16人の若者がハッピーに描かれたカラスを表現した独創的な踊りを披露します。投げだんじりは、拍子木に合わせて高く差し上げられ肩に乗せ、前後左右に回したり走ったりします。最後には掛け声に合わせてだんじりは高く投げあげられ、傾きもせず着地します。また、天井越しというダイナミックな技では、だんじりの下4面に2人ずつ入り肩に乗せ、4本の柱を2人ずつで支え、担ぎ手16人が足並みを揃えてだんじりを回します。大変危険な技ですが、この技が成功すると大きな歓声と拍手が沸き起こり祭りがおおいに盛り上がります。応援隊：坂本厚子



男の付き合いは祭りから～祭りのおかげで地区がまとまっています～

市地区は、だんじりの担ぎ手、だんじり唄をうたう人、子どもだんじり・・・地区総出で祭りに関わります。祭りとの関わりで男の付き合いが始まり、祭礼団、子供会、老人会で祭りを支えます。祭りの日は、地区のみんなで家族の心づくしのお重のお弁当を食べます。800～900kgのだんじりを担いで地元に戻ってきてからも、在所の人にすべての演目のお披露目をして拍手の中、祭りが終わります。



阿万の春祭り

春は祭りから

「ドンデンドン、ドンデンドン」

「やーしずめましょ。」「やーさかえましょ。」

南あわじの春は、この祭りのだんじり唄の太鼓の音と共にやってきます。ここ、阿万の亀岡八幡宮でも四月の第三日曜日実施の祭りに備え、およそ一カ月前よりだんじり唄の練習が始まります。この練習が始まると大人も子どもも地域全体が祭り模様に染まっていきます。

宵宮、そして早朝の花火ではじまる本宮。神輿二基と阿万、北阿万地区総勢15台の



だんじりが八幡宮から西町の浜の宮へと巡幸をします。先頭に行くのは白装束の初老、還暦の人がかく神輿。青い空、青い海の海岸に絢爛豪華な水引幕をまとった真紅のふとんだんじりが勢ぞろいする姿はみごとな一大絵巻です。浜の宮でだんじり唄を奉納したあと、神輿とだんじりが延々列を作ってまた太鼓の音と共に、八幡宮へ戻ります。大勢の参詣者が見守る中、神輿が境内を右へ左へと練る頃には祭りは一段と盛り上がります。たくさんのお店が並ぶ境内では阿万小学校の卒業生、保存会、祭礼団によるだんじり唄の奉納が昼過ぎから夕方まで続きます。

近年結婚式やお祝いの式典にも披露されるようになってきただんじり唄。コンクールなど発表の機会もふえ、生活の中に根付いてきています。今では島内各地に広まったこの



だんじり唄は「阿万節」と呼ばれ、この地域の先人たちが創作したものだそうです。亀岡八幡宮の前川真澄宮司はそのことを地域の誇りに思い、祭りを軸とした文化の継承を担い、存在感のある地域になって欲しいと願っている、と語ります。地域にしっかりと根付いている阿万の春祭り、太鼓の音に誘われて、ぜひ一度でかけてみませんか。前川真澄亀岡八幡宮宮司 談/応援隊：村上紀代美

- 祭礼団の衣装をファッションチェック!
- 淡路島のだんじり祭り、その魅力とは・・・

下堺祭礼団



五色の画家、下瀬冷泉子直筆の法被。(づぼら画)
60年前、おじいさんの代から三代にわたりの法被で祭りに参加。

市祭礼団



カラスの模様

素肌ハッピー

ネルの腰巻

わらじ



浜祭礼団 (一宮丸)

広石中祭礼団～龍のハッピー



春祭りファッションチェック!



阿万の春祭り

岩屋の祭り



おしゃれのポイントは、ふんどし飾り!

淡路島のだんじり祭り、その魅力とは・・・

太鼓の音に、心ウキウキした少年時代の思い出がいつまでもみんなの心に残っています。幾多の名工の技により造り出され、地域の文化財として受け継がれてきた淡路島のだんじりの魅力は、勇姿はもとより水引きなどの刺繍、高欄・狭間などの彫刻、金綱などの美術工芸品、そして勇壮な練りと情緒あふれるだんじり唄など・・・、魅力がたっぷりです。

「だんじり」とは、神社の祭礼に曳き出される、笛・太鼓・鉦などの囃子方を乗せた「曳き物・練り物」のひとつです。全国各地の祭礼には多くの「山車(だし)」が登場します。特に大阪を中心とした近畿一円で見られる「山車」のひとつを「だんじり」といいます。しかし、地域によっては「山車」や「まつり屋台」などの曳き物を「だんじり」と呼ぶところもあれば、「太鼓台」や「布団太鼓」などと呼ぶところもあります。淡路島は「だんじり」とか「たいこ」の名称で呼ばれています。

その魅力あふれる淡路島のだんじりはまさに伝統工芸の粋を集めた、《動く美術館》ともいえます。また道中や宮入りでのだんじりの「練り」や「唄」も楽しみのも一つで、特に淡路島の南部では『淡路人形浄瑠璃』の各外題をとりあげ、クライマックスを抜粋して創られたのが、淡路独特の民俗芸能である『だんじり唄』となり

ました。それらの魅力は真に淡路ならではの祭りの魅力です。

最近の淡路各地のだんじり祭りを見ていると、泉州や四国方面から多くのマニアの方が来られています。彼らは淡路のだんじりの彫刻や刺繍に魅力を感じ、興味を持ってカメラやビデオに収録しています。淡路のだんじり彫刻は大変素晴らしく、江戸時代に活躍し、かの有名な日光東照宮の『眠り猫』など多くの作品を残している『左甚五郎』の流れを受け継いだ彫り師が沢山輩出されている土地柄かも知れません。

それでは淡路島にはどのような「だんじり」がある? みんなが知っている一般的な淡路島のだんじりは赤い布団を重ねた五重の淡路型『布団だんじり』です。他には、だんじりの起源といわれ、鳥飼八幡宮や伊弉諾神宮にみられる『舟だんじり』、市地区や湊地区にみられる勇壮な『投げだんじり』、洲本や岩屋にみられる『舞台付き曳きダンジリ』、旧一宮地区にみられる『遣いだんじり』、沼島地区にみられる『岸和田風曳きだんじり』など多彩な姿や形のだんじりが淡路島内で約350基動いています。HP「淡路島のだんじり祭り、その魅力とは・・・」 <http://awajidanjiri.jimdo.com>

城下町洲本 レトロなまち歩き

城下町洲本
レトロなまち歩き

4月28日(土)10:00~17:00 (一部21:00頃まで)
4月29日(日)10:00~16:00

場所:洲本市オリオンを中心とした南北通り(町屋通り)とその界限

煉瓦倉庫や町家などレトロな雰囲気を残す城下町洲本。この魅力を島内外に発信しようと『城下町洲本レトロなまち歩き』と題したイベントが開催されます。

古い町家を利用して、カフェやアートな手づくり小物の販売・作品展示、似顔絵や音楽パフォーマンス、イベント限定B級グルメの販売など島内外から約50ブースが出店し、まち歩きを楽しむ中で城下町としての洲本の魅力を再発見していただきます。当日はミニFM局も開局し、リアルタイムで様々な情報発信もあります。

応援隊:栄 宏之



主催: 城下町洲本再生委員会
 協力: (株)パソナグループここから村
 問合せ先: 090-3997-4596(川村)
 HP: <http://sumoto-retro.blogspot.com/>
 後援: 洲本市、兵庫県淡路県民局、洲本商工会議所
 (財)淡路島くにうみ協会、淡路島観光協会

おじゅさんの ありがた〜いお話



『待つ』

今日は彼岸の入り、ぼちぼち暖かくなるかと期待をしておりましたが今年はいつまでも寒い日が続いています。先日琵琶湖の畔に住んでいらつしやる老夫婦に「そちらは大変寒いでしょう、お体をお大事にして下さい。」と尋ねると、こう話してくれました「春を楽しみに待っています。彼岸が来て仏さんに会えるのを楽しみに待っています」この言葉に待つことの大切さに気づかされました。

毎日、仕事に家事に追われて時間は過ぎていきますが、季節の流れはいつも変わりなく流れています。その中に身を任せ、後を楽しみに待つ、待つことで大きないのちと向き合うことを教えられました。

平成二四年三月十七日

応援隊 竹原 祐幸

合掌



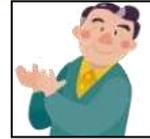
★淡路文化会館からのお知らせ★

「いざなぎ学園」24年度生 二次募集のご案内



◆あなたの『学び』をサポートします◆

シニア世代の大学「生涯学習講座のご案内」



募集講座 ①4年制大学講座（30名程度）
②2年制大学院講座（15名程度）

講座内容 地域文化、歴史、健康、趣味
地域活動、スポーツなど

対象 概ね50歳以上の方

受講料 12,500円(他、自治会費等)

募集期間 3/19～4/6

応募方法 公共施設等の募集案内または淡路文化会館のホームページをご覧ください

≪講座の例≫

教養講座 「楽しく生きる暮らしの知恵」
「能楽へのいざない」
「わかりやすい整理収納入門」

専門講座 「平家と淡路島」「兵庫のまつり」
「笑い与健康」「メガソーラーって」

実技実習講座 「エコろうそく」「籠あみ」
「ヨガ」「そば作り」「パン作り」「体操体操」

学年別講座 サークル活動

主催 (公財)兵庫県生きがい創造協会 淡路文化会館

問合せ先 淡路文化会館(淡路市多賀600) Tel 0799-85-1391

★淡路消費生活センターからのお知らせ★

未公開株や社債の勧誘に注意！

電話勧誘で、「必ず儲かる」「値上がり確実」などと有利なことばかりを言って未公開株や社債の購入を持ちかける事例が発生しました。近年、県内の消費相談窓口でも未公開株や社債を巡る消費者トラブル相談が多く寄せられおり、その手口は年々巧妙になってきています。

＜主な事例＞

- 劇場型**
未公開株の勧誘を受けた数日後、別の業者が「高値で買い取る」と電話をかけてくる。といった、複数の業者が登場する手口。
- 被害回復型**
かつて投資トラブルに遭った方に、「〇〇社の未公開株を購入してくれば、過去の被害を全額回復する」と持ちかけて勧誘する手口。
- 代理購入型**
「事情があって自分は購入できないから、代わりに買ってくれ」と持ちかけ、謝礼や高値買い取りを約束する手口。



＜消費者へのアドバイス＞

- ◆未公開株は、取引所に上場されていない株式であり、販売できるのは株の発行会社や登録を受けた証券会社に限られます。実際の上場されなければ、売買を成立させることは極めて困難で、換金する方法はほとんどありません。
- ◆「あなただけが儲かる」というようなうまい話はないので、きっぱりと断ることが大切です。
- ◆あやしいと思ったらすぐに最寄りの消費生活センターに相談しましょう。

兵庫県淡路消費生活センター 商品や契約についてお気軽にご相談ください。
◇消費生活相談・多重債務相談 電話0799-23-0993
9:00～12:00 13:00～16:30 (土日祝日・年末年始は除く) (電話受付)

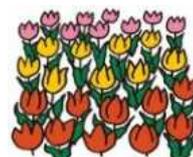


イベント・インフォメーション

所	イベント	日時・会場	料金・問合せ先
淡路島 国営明石海峡公園 〒656-2307 淡路市南鶴崎8-10 TEL 0799-72-2000 FAX 0799-72-2100	無料入園日	4/8 (日)	※駐車料金必要
	チューリップアイランド パーティー2012	4/7 (土) ～4/22 (日)	イベントにより異なる ※別途入園料・ 駐車料金必要
	春の似顔絵屋さん	4/7 (土)・8 (日) ・21 (土)・22 (日)	子供500円・大人1000円 ※別途入園料 駐車料金必要
兵庫県立 淡路夢舞台温室 「奇跡の星の植物館」 〒656-2306 淡路市夢舞台4 TEL 0799-74-1200 FAX 0799-74-1201 10:00～18:00 (最終入館17:30)	恐竜が見たバラ —バラの化石と恐竜で語る	4/28 (土) ～5/31 (木)	入館料：大人600円 65歳以上(要証明) 300円 高校生300円 中学生以下無料
	淡路夢舞台薔薇祭	4/28 (土) ～5/31 (木)	入館料：大人600円 65歳以上(要証明) 300円 高校生300円 中学生以下無料
	バラの ハンギングバスケット教室	4/29 (日) 13:00～ ※要予約 定員：20名	参加費：3000円(入館料別)
洲本市文化体育館 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-25-3321 FAX 0799-25-3325	第23回 春の琴成会祭り	4/21 (土) 10:00～ (開場9:30～) ※文化ホール 『しばえもん座』	無料 【問】新家成子 TEL 0799-32-0121
	がんばれ日本 東日本大震災チャリティー 歌謡祭in淡路島	4/28 (土) ①13:00～(開場12:30) ②17:30～(開場17:00) ※大ホール	前売(全席指定)※当日500円増 S席5,500円 A席5,000円 【問】がが竹喫茶シャインロード TEL 0799-24-2552
	第8回大正琴トレンディ リサイタル	5/27 (日) 11:30～ (開場11:00～) ※文化ホール 『しばえもん座』	無料 【問】トレンディ(林仁美) TEL 0799-26-1038

淡路花祭2012春 ～5/27(日)まで開催

- ・菜の花まつり(あわじ花さじき ～4/22)
- ・淡路島公園を楽しもう祭(県立淡路島公園 4/22)
- ・花遊山～花見の庭～(奇跡の星の植物館 ～4/22)
- ・春のカーニバル(国営明石海峡公園 ～5/13)



※その他、淡路島内各地にてイベントが開催されています。

くわしくは

淡路花祭2012

検索

クリック

ギャラリー・インフォメーション

所	イベント	日時・会場	料金等
淡路文化会館 〒656-1521 淡路市多賀600 TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400	淡路島の伝統芸能と文化パネル展	3/31(土)~4/15(日) 9:00~17:00 ※展示室	鑑賞無料
	美サロン展 (美術ボランティア作品展)	3/31(土)~4/15(日) 9:00~17:00 ※県民ギャラリー	鑑賞無料
	日本の原風景展 (ミニチュアの中の世界)	4/17(火)~5/6(日) 9:00~17:00 ※展示室	鑑賞無料
	井村澄展模型展	4/17(火)~5/6(日) 9:00~17:00 ※県民ギャラリー	鑑賞無料
洲本市民工房 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-22-3322 FAX 同上	陶温(陶・布・絵)作品展	4/13(金)~15(日) 10:00~16:00 ※3階ギャラリー	観覧無料
洲本市市民交流センター 〒656-0054 洲本市宇原1788-1 TEL 0799-24-4450 FAX 0799-24-4452	淡路洋画セミナー作品展 淡路文化会館淡路洋画セミナーの受講生が制作した洋画、デッサンを展示	4/4(水)~29(日) 9:00~21:00(月曜休館) ※アールギャラリー	観覧無料 【問】市民交流センター TEL 0799-24-4450
洲本市文化体育館 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-25-3321 FAX 0799-25-3325	淡路美術協会公募展 第70回記念展	5/3(木)~6(日) 9:00~17:00(最終日16時) ※応募は事務局まで 出品料1,000円(学生無料)	観覧無料 【問】事務局 小倉 TEL 0799-22-3645
南あわじ市滝川記念美術館 玉青館 〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1 TEL 0799-36-2314 FAX 0799-36-5408	平成24年度館藏品展 I	開催中 ※月曜休館 9:00~17:00 (入館は16:30まで)	大人 300円 高大生200円 小中生100円 ※小中生は「ココロ ンカード」「のびの びパスポート」利用 可

編集だより



私の趣味はマラソン。走りはじめた目的はダイエットでしたが、マラソンの魅力にはまってしまい、30年あまり続けています。最近では加齢とともに走力も低下しましたが、これからもできるだけ走り続けていきたいなあって思っています。

ポケットあわじ101号で、そのマラソンのことを取材されました。それがきっかけで、この応援隊に加えていただき早1年になろうとしています。微力ながらお手伝いをさせていただいていますが、おかげで編集会議や担当した取材を通じて、全く知らなかったことや新しい出会いがたくさんありました。これからもどうぞよろしく願いいたします。

今月号の特集「お祭り」は、私も大好きです。あの太鼓の音が聞こえてくると心がウキウキしますね。 応援隊 田処吉久

「ポケットあわじ」は、毎月3,000部発行し、応援隊の手により、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約240カ所に無料配布しています。

淡路文化会館のホームページ【<http://www.eonet.ne.jp/~awaji-cc/>】でご覧になると、カラー版でお楽しみいただけます。読者の皆さまからのご便り、まちの情報をお待ちしています。下記までお気軽にどうぞ！

(発行) 淡路生活創造応援隊
淡路文化会館
〒656-1521 淡路市多賀600
TEL 0799-85-1391
E-mail a-pocket@hyogo-ikigai.jp

